



TITLE:

表紙、序、例言、目次、図版目次
、挿図目次、表目次、中扉、奥付

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙、序、例言、目次、図版目次、挿図目次、表目次、中扉、奥付.
京都大学構内遺跡調査研究年報 2003, 1999

ISSUE DATE:

2003-11-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/226698>

RIGHT:

京都大学構内遺跡調査研究年報

1999年度

京 都 大 学 埋 蔵 文 化 財 研 究 セ ン タ ー

序

京都大学構内の遺跡調査は、吉田キャンパスのほか、高槻市の安満遺跡、和歌山県白浜町の瀬戸遺跡など、各地の付属施設の建物建設にあたっても実施し、組織的な調査をおこなうようになって以後、調査面積は70000m²を越えている。この間に、縄文時代の集落の構造を示す住居跡や墓地、弥生時代の水田跡、古代の梵鐘鑄造遺構、文献に記された京と近江を結ぶ中世・近世の道路跡、幕末の土佐藩および尾張藩の下屋敷跡など、先史時代から近世にいたる長い歴史のなかで刻まれた、貴重な資料が明らかになっている。これらの調査成果は年次報告として公表しているほか、現地に埋め戻しあるいは移築保存している遺構もあり、出土資料の一部は埋蔵文化財研究センター資料室に展示している。

本年報は、1999年度に吉田キャンパス内でおこなった、発掘および立合調査から得られた、主要な遺構・遺物の分析の成果を第Ⅰ部で報告し、第Ⅱ部の紀要で、過去の調査で出土した瓦の資料を再検討して、造瓦組織の復元を試みたものである。この鴨東地域の考古資料の内容は、過去の調査の蓄積からほぼ把握された観もあるが、この報告にみられるように、新たな出土資料によって分析が深められ、さらなる検討を要する諸点も明らかになっている。ご高評をお願いしたい。

おわりに、これらの調査を進め上でご指導ご助言をいただいた、学内学外の関係者および関係機関、とりわけ、発掘にあたって多くの協力を賜った、施設部、文学部、医学部、医学部付属病院の関係各位には、ここに厚くお礼申し上げる次第である。

2003年11月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

鎌田元一

例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で1999年4月1日から2000年3月31までに発掘、整理作業を終了した埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学埋蔵文化財研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系（日本測地系、 $x = -108,000$ $y = -20,000$ ）が（ $X = 2,000$ $Y = 2,000$ ）となる京都大学構内座標により表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE、土坑：SKのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通じて表示を統一した。
Ⅰ：京都大学病院構内 AF20 区の発掘調査
Ⅱ：京都大学医学部構内 AO17 区の発掘調査
Ⅲ：京都大学本部構内 AW26 区の発掘調査
（例 Ⅰ 1：京都大学病院構内 AF20 区出土遺物 1 番）
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のものは、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に〔著者名 発表年〕の形式で表わし、巻末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また遺物の撮影はおおむねそれぞれの報告者が担当した。
- 10 編集は、伊藤淳史が担当し、清水芳裕、千葉 豊、富井 眞、阪口英毅、梶原義実、磯谷敦子、北尾敬子、柴垣理恵子が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報 1999年度

目 次

第 I 部 1999年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

| | |
|-----------------------------|----|
| 第 1 章 1999年度京都大学構内遺跡調査の概要 | 1 |
| 1 調査の経過 | 1 |
| 2 調査の成果 | 1 |
| 第 2 章 京都大学病院構内 AF20 区の発掘調査 | 3 |
| 1 調査の概要 | 3 |
| 2 層 位 | 4 |
| 3 遺構と遺物 | 5 |
| 4 小 結 | 11 |
| 第 3 章 京都大学医学部構内 AO17 区の発掘調査 | 13 |
| 1 調査の概要 | 13 |
| 2 層 位 | 14 |
| 3 古代以前の遺跡 | 17 |
| 4 中世の遺跡 | 18 |
| 5 中世の瓦 | 60 |
| 6 近世の遺跡 | 76 |
| 7 小 結 | 78 |
| 第 4 章 京都大学本部構内 AW26 区の発掘調査 | 81 |
| 1 調査の概要 | 81 |
| 2 層 位 | 81 |
| 3 遺 構 | 84 |

| | |
|--------------------------|-----|
| 4 出土遺物 | 87 |
| 5 小 結 | 106 |
| 第5章 京都大学本部構内 AX22 区の立合調査 | 113 |
| 1 調査の概要 | 113 |
| 2 調査の成果 | 114 |
| 3 黄色砂の堆積と旧地形 | 116 |
| 参 考 文 献 | 123 |
| 京都大学構内遺跡調査要項 | 127 |
| 報 告 書 抄 録 | 135 |

第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 XV

13世紀における「中央官衙系」瓦工の編成と展開

——京都大学医学部構内 AO18 区の資料から——

| | |
|--------------------|-----|
| 1 はじめに | 139 |
| 2 出土資料 | 140 |
| 3 SK12 出土の一括資料について | 151 |
| 4 おわりに | 154 |

| | |
|-----|----|
| 図 版 | 巻末 |
|-----|----|

図 版 目 次

図版 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点

図版 2 京都大学病院構内 AF20 区

- 1 完掘後の調査区全景（北から）
- 2 SK1（北から）
- 3 SK7（南から）

図版 3 京都大学病院構内 AF20 区

図版 4 京都大学医学部構内 AO17 区

- 1 調査区西北部近世遺構全景（南から）
- 2 調査区全景（完掘後・南東から）

図版 5 京都大学医学部構内 AO17 区

- 1 路面状遺構 SF1（北から）
- 2 路面状遺構 SF2（北から）
- 3 路面状遺構 SF3a（東から）
- 4 路面状遺構 SF4（北から）
- 5 土器溜 SX3（西から）
- 6 土器溜 SK6（西から）

図版 6 京都大学医学部構内 AO17 区

- 1 集石 SX2（南から）
- 2 集石 SX5（南から）
- 3 集石 SX9（東から）
- 4 集石 SK20（SE23上面・南から）
- 5 集石 SX11上層（南から）
- 6 集石 SX11下層（東から）

図版 7 京都大学医学部構内 AO17 区

- 1 井戸 SE6（北から）
- 2 井戸 SE10（北から）
- 3 井戸 SE11（東から）
- 4 井戸 SE12（北から）
- 5 井戸 SE13（北から）
- 6 井戸 SE14（東から）

図版 8 京都大学医学部構内 AO17 区

- 1 井戸 SE15（南から）
- 2 井戸 SE16（北から）
- 3 井戸 SE17（西から）
- 4 井戸 SE20（南から）
- 5 井戸 SE21（南東から）
- 6 井戸 SE22（北から）

図版 9 京都大学医学部構内 AO17 区

古代の遺物, SK6 出土遺物, SE15 出土遺物, SE23 出土遺物, SK20 出土遺物

- 図版10 京都大学医学部構内 AO17 区
SK16 出土遺物, SE16 出土遺物, SK12 出土遺物, SK23 出土遺物, SE6
出土遺物
- 図版11 京都大学医学部構内 AO17 区
SE24 出土遺物, 池状落込出土遺物, 茶褐色土出土遺物, SF4 出土遺物
- 図版12 京都大学医学部構内 AO17 区
茶褐色土出土遺物, 暗黄灰色土出土遺物, 黄灰色土出土遺物
- 図版13 京都大学医学部構内 AO17 区
1 鉄製品X線写真 2 焼土塊
- 図版14 京都大学医学部構内 AO17 区
軒丸瓦, 軒丸瓦転用硯
- 図版15 京都大学医学部構内 AO17 区
丸瓦
- 図版16 京都大学医学部構内 AO17 区
軒平瓦
- 図版17 京都大学医学部構内 AO17 区
軒平瓦, 熨斗瓦
- 図版18 京都大学医学部構内 AO17 区
1 熨斗瓦, 平瓦 2 近世の遺物
- 図版19 京都大学本部構内 AW26 区
1 調査区全景 (東から) 2 瓦溜 SK1 (南から)
3 溝 SD1 (西から)
- 図版20 京都大学本部構内AW26 区
1 溝 SD2 (西から) 2 土坑 SK12 (北から)
3 井戸 SE2 (北から) 4 井戸 SE2 (西から)
5 井戸 SE1 (北から) 6 井戸 SE4 (北から)
- 図版21 京都大学本部構内AW26 区
1 石器 2 SD2 出土遺物
3 SD1 出土遺物

- 図版22 京都大学本部構内AW26 区
SE2 出土遺物
- 図版23 京都大学本部構内AW26 区
SE1 出土遺物, SE3 出土遺物
- 図版24 京都大学本部構内AW26 区
SE4 出土遺物
- 図版25 京都大学本部構内 AW26 区
軒丸瓦
- 図版26 京都大学本部構内 AW26 区
軒平瓦
- 図版27 京都大学本部構内 AX22 区の立合調査
1 Aトレンチ (北東から) 2 Bトレンチ (南西から)
3 大溝 SDI の断面 (北から)
4 Aトレンチ南壁中央の層位 (北から)
5 Bトレンチ東壁中央付近の層位 (西から)
- 図版28 京都大学医学部構内 AO18 区出土の瓦
軒丸瓦
- 図版29 京都大学医学部構内 AO18 区出土の瓦
軒平瓦, 平瓦, 磚

挿 図 目 次

病院構内 AF20 区の発掘調査

| | | |
|-----|---|----|
| 図 1 | 層位模式図…………… | 4 |
| 図 2 | 中世の遺構…………… | 5 |
| 図 3 | 縄文時代の土器…………… | 6 |
| 図 4 | SE1 出土遺物(1)…………… | 7 |
| 図 5 | SE1 出土遺物(2)…………… | 9 |
| 図 6 | SK1・SK2・SK3・SK4・SK5・ SK7・SP8・攪乱出土遺物…………… | 10 |

医学部構内 AO17 区の発掘調査

| | | |
|-----|--|----|
| 図 7 | 調査地点の位置…………… | 13 |
| 図 8 | 調査区西壁の層位…………… | 15 |
| 図 9 | 調査区東西畔の層位…………… | 16 |
| 図10 | 古代以前の出土遺物…………… | 18 |
| 図11 | 中世の遺構（その 1）…………… | 20 |
| 図12 | 中世の遺構（その 2）…………… | 21 |
| 図13 | 調査区南壁東半の層位…………… | 23 |
| 図14 | 中世の井戸（その 1）…………… | 25 |
| 図15 | 中世の井戸（その 2）…………… | 26 |
| 図16 | 中世の井戸（その 3）…………… | 27 |
| 図17 | 中世の井戸（その 4）…………… | 28 |
| 図18 | SK4・SK6・SK19・SX3 出土遺物…………… | 32 |
| 図19 | SE10・SE11・SE12・SE14・ SE20・SE15・SE22・SE23 出土遺物…………… | 33 |
| 図20 | SK26・SD30・SD34・SD35・ | |

| | |
|----------------|----|
| SD36 出土遺物…………… | 34 |
|----------------|----|

| | | |
|-----|---|----|
| 図21 | SK20・SK11・SK16 出土遺物 …………… | 38 |
| 図22 | SE16・SE18・SX5・SX10 出土遺物…………… | 39 |
| 図23 | SK3・SK12・SK18・SK24・ SK13・SK17 出土遺物…………… | 40 |
| 図24 | SK23（その 1）・SX11・SE19 出土遺物…………… | 41 |
| 図25 | SK8・SK10・SK15 出土遺物 …………… | 46 |
| 図26 | SX2・SX6・SX9 出土遺物…………… | 47 |
| 図27 | SE6・SE13・SE17・SE21・ SE24 出土遺物…………… | 50 |
| 図28 | SX7・SX8 出土遺物…………… | 51 |
| 図29 | SK2・SK7・SK9・SD28・ SD31・SD32・池状落込・SK23 （その 2）出土遺物…………… | 52 |
| 図30 | SF2・SF3・SF4・茶褐色土 出土遺物…………… | 53 |
| 図31 | 黄灰色土・暗黄灰色土出土遺物 …………… | 54 |
| 図32 | 土製品・石製品…………… | 56 |
| 図33 | 鉄製品・青銅製品…………… | 58 |
| 図34 | 焼土塊…………… | 59 |
| 図35 | 軒丸瓦…………… | 62 |
| 図36 | 軒丸瓦転用硯…………… | 63 |

| | | |
|-----|----------------------|----|
| 図37 | 軒平瓦(1)…………… | 65 |
| 図38 | 軒平瓦(2)…………… | 66 |
| 図39 | 軒平瓦(3)…………… | 67 |
| 図40 | 丸瓦…………… | 69 |
| 図41 | 熨斗瓦・平瓦(1)…………… | 70 |
| 図42 | 平瓦(2)…………… | 71 |
| 図43 | 窺記号・刻印一覧…………… | 73 |
| 図44 | 近世の遺構…………… | 76 |
| 図45 | 灰褐色土・攪乱出土遺物…………… | 77 |
| 図46 | 医学部構内地籍図と発掘調査地点…………… | 79 |

本部構内 AW26 区の発掘調査

| | | |
|-----|-------------------------------|-----|
| 図47 | 本調査区の層位模式図と 立合調査区の層位…………… | 83 |
| 図48 | 検出遺構と周辺調査区の おもな遺構…………… | 85 |
| 図49 | 縄文時代の遺物…………… | 87 |
| 図50 | 古墳時代の遺物…………… | 88 |
| 図51 | SE2・SK1 出土遺物…………… | 90 |
| 図52 | SE1・SK4 出土遺物…………… | 91 |
| 図53 | SD3・SK9・SK6・SK13 出土遺物…………… | 93 |
| 図54 | SE3 出土遺物…………… | 94 |
| 図55 | SK8・SK10・SK12 出土遺物…………… | 95 |
| 図56 | SE4 出土遺物(1)…………… | 98 |
| 図57 | SE4 出土遺物(2)…………… | 99 |
| 図58 | SE4 出土遺物(3)…………… | 100 |
| 図59 | 軒丸瓦…………… | 101 |

| | | |
|-----|----------------|-----|
| 図60 | 軒平瓦(1)…………… | 102 |
| 図61 | 軒平瓦(2)…………… | 103 |
| 図62 | 木製品…………… | 104 |
| 図63 | SD1 出土遺物…………… | 105 |
| 図64 | 回転台土師器(1)…………… | 109 |
| 図65 | 回転台土師器(2)…………… | 111 |

本部構内 AX22 区の立合調査

| | | |
|-----|----------------------------|-----|
| 図66 | 調査区の位置…………… | 113 |
| 図67 | 調査区の層位…………… | 114 |
| 図68 | 60地点の層位…………… | 115 |
| 図69 | 黄色砂の層厚と黄色砂内の 巨石の分布…………… | 117 |
| 図70 | 弥生時代前期末の地勢…………… | 118 |
| 図71 | 関連地点の層位(1)…………… | 119 |
| 図72 | 関連地点の層位(2)…………… | 121 |

13世紀における「中央官衙系」瓦工の 編成と展開

| | | |
|-----|----------------------|-----|
| 図73 | 本調査区と周辺調査地点…………… | 139 |
| 図74 | AO18 区出土軒丸瓦(1)…………… | 142 |
| 図75 | AO18 区出土軒丸瓦(2)…………… | 143 |
| 図76 | AO18 区出土軒平瓦…………… | 146 |
| 図77 | AO18 区出土平瓦・塼…………… | 149 |
| 図78 | AO18 区出土窺記号・刻印瓦…………… | 149 |

表 目 次

| | | | |
|-----|---|-----|----------------------------|
| 表 1 | SE1 出土土師器の法量分布 6 | 表11 | 匱記号の型式別出土点数.....73 |
| 表 2 | 中世井戸一覧表.....29 | 表12 | SE6 出土瓦の隅数.....75 |
| 表 3 | SK4・SK6・SK19・SX3 出土 土器計測結果.....30・31 | 表13 | 京都大学構内遺跡のおもな調査128 |
| 表 4 | SK20・SK11・SK16 出土土器 計測結果.....36・37 | 表14 | AO18 区出土の軒丸瓦.....141 |
| 表 5 | SK23・SX11・SE19 出土土器 計測結果.....42・43 | 表15 | AO18 区出土の軒平瓦.....147 |
| 表 6 | SK8・SK10・SK15 出土土器 計測結果.....44・45 | 表16 | 軒丸・丸瓦隅数.....153 |
| 表 7 | SX2・SX6・SX9 出土土器 計測結果.....48・49 | 表17 | 軒丸・丸瓦匱記号.....153 |
| 表 8 | 軒丸瓦の遺構別出土点数.....60 | 表18 | 先端部の分類.....153 |
| 表 9 | 軒平瓦の遺構別出土点数.....63 | 表19 | 軒平瓦隅数.....153 |
| 表10 | 匱記号・刻印の遺構別出土点数73 | 表20 | 軒平瓦匱記号.....153 |
| | | 表21 | 平瓦隅数.....153 |
| | | 表22 | 平瓦刻印.....153 |
| | | 表23 | 他遺構との比較（軒丸・丸瓦）153 |
| | | 表24 | 他遺構との比較（軒平瓦）.....153 |
| | | 表25 | 他遺構との比較（平瓦）.....153 |

第 I 部 1999年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

- 第1章 1999年度京都大学構内遺跡調査の概要
- 第2章 京都大学病院構内AF20区の発掘調査
- 第3章 京都大学医学部構内AO17区の発掘調査
- 第4章 京都大学本部構内AW26区の発掘調査
- 第5章 京都大学本部構内AX22区の立合調査

第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 XV

13世紀における「中央官衙系」瓦工の編成と展開

——京都大学医学部構内 A018 区の資料から——

梶原 義実

2003年11月1日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報
1999年度

編集 京都大学埋蔵文化財研究センター
発行 京都市左京区吉田本町
印刷 有限会社真陽社
製本 京都市下京区油小路仏光寺上ル